

企業紹介

十日町地域の産業振興と 地域交流の拠点

クロスステーン キナーレ

一般財団法人 十日町地域地場産業振興センター

理事長 関口 芳史
〒948-0003 十日町市本町6丁目
TEL 025-757-2323 FAX 025-752-4497
クロスステーン <http://cross10.or.jp>
越後妻有交流館 キナーレ <http://kinare.jp>

事業内容：産業振興事業、施設共同利用事業、地域交流・連携事業、地場産品展示・即売事業、食堂委託事業

十日町地域の産業振興・地域交流などを図るための様々な支援や事業を行う（一財）十日町地域地場産業振興センター。同センターでは、地場産品を展示・販売する道の駅「クロスステーン」と日帰り温泉施設などを備えた「越後妻有交流館 キナーレ」を拠点に、十日町地域の魅力を内外に発信している。

絹織物を始めとした産業振興としてスタート

同センターは、昭和56年に、十日町地域の基幹産業である絹織物を始め、農産加工品、酒造、木工芸など、地場の産業振興を目的として設立。

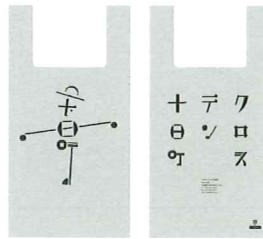
現在は、道の駅「クロスステーン」を拠点に、地域の食品産業と連携した商品開発や販路開拓、着物の需要喚起に向けたイベント、観光振興事業などに取り組んでいる。また、隣接する公共施設「越後妻有交流館 キナーレ」の運営も十日町市から指定管理を受けている。



▲昨年1月にリニューアルした「クロスステーン」の物産売場。左上の「つるし糰子」の数は、世界最多。ギネス世界記録に認定されている

地場産品を展示・販売する「クロスステーン」

道の駅「クロスステーン」は、地場産品を展示・販売するほか、レストランやイベントホールなども兼ね備えている。昨年は、1階の売場や食堂などを全面改装。売場では、日本酒や和装小物などお土産品のほか、地元や近隣の農産加工品の販売も開始した。また、今年が開設30周年を迎えることから、長岡造形大学の学生とともに紙袋・包装紙の新デザインを考案。来場者から投票してもらい、最も人気の高かったデザインが、今年4月から使用されている。



▲クロスステーンの新デザイン



▲manma and cafe「ユキまつり」では、地場で採れる旬の食材を使用。写真は「雪室じゃがいもと春野菜の米粉コロッケ塩麹クリーム」

地域交流の拠点「越後妻有交流館 キナーレ」

「クロスステーン」に隣接する「越後妻有交流館 キナーレ」の1階は、日帰り温泉施設「明石の湯」が入っている。また、2階には昨夏に「越後妻有里山現代美術館」やレストランなどがオープンした。同館は、当地で3年ごとに開催される「大地の芸術祭」で、平成15年に建設された作品の1つ。現在では、芸術祭のメインステージとして、地域交流の拠点となっている。



▲「越後妻有交流館 キナーレ」の設計は、京都駅や札幌ドームなどの設計を手掛けた原広司氏



▲開放的な浴室と休憩室が揃った「明石の湯」

同センターはこれらの施設を有効活用し、今後も十日町地域の魅力発信と産業の活性化に尽力する。